

業務の新聞

第32号

平成30年

10月26日

足元を見直そう！

残念なことに、東日本ユニオン組合員が業務中に亡くなりました。

ご家族にお悔やみ申し上げます。

J Rの職場に潜む“否定的な現実”、「問題認識の共有」、問題点抽出、改善、検証をJ Rに働くすべての労働者の命を守るために、安全・安心を最優先に私たちは、会社とともに進めてきました。しかし、この取り組みはまだまだ不十分だったということを突きつけられました。

私たちは、大切な仲間を失ったこの現実をしっかりと受けとめなければなりません。

そして今、私たちの業務・労働環境を再点検し、J Rの各職場から『否定的な現実』を排除しなければなりません、一つひとつ確実に！

安全？大丈夫？

『列車のドアが“勝手に”開閉する?!』『列車の屋根に“何かの部品”が散在している?!』『塩害？鉄道設備から発煙?!』どこかで聞いたことがありますか？

ドアの方は営業運転を継続、屋根の方はパンタグラフの緊縛をせず、発煙は原因不明ということのようです。

安全は大丈夫なののでしょうか？

皆さんはどのように感じますか？

様々な職種があって、列車は運行することが出来ます。“子供たち”から手を振ってもらえることができます。

いつまでも想定外や異常気象で片づけることができない現実が私たちの目前にあります。

お互い様の精神？

次期ダイヤ改正から、新たな乗務員勤務制度が運用されます。

会社の説明では、「育児・介護行路希望者に選択肢を広く提示する」「支社課員が乗務する」「指導員が乗務する」「拘束時間を1時間伸ばす」「労働時間A目一杯乗務する」「朝食時間を拡大する」などだったことを覚えていますか？

では、どのような“勤務”が待っているのでしょうか？『お互い様の精神』はいつ“発揮”されるのでしょうか？

朝食時間を10分伸ばして、拘束時間が1時間伸びるってどうですか？

“短時間行路”希望者にどのような時間帯を提示するの？支社課員行路にアナが空いたら誰が乗るの？『お互い様の精神』って一体何かな？…。

実際の行路が出てくるまでウワサが“無責任に”ひとり歩きするような職場でないことを望みます。

皆さんは何を望みますか？

新たな仲間を迎えて

J R東日本では、現在3万人以上の社員が労働組合に加入していません。日本を“代表”するような大企業の現状です。

労働組合への加入は、もちろん本人の自由であり、本人の意思で決めることです。

私たちは、10月25日に新たな仲間を迎えることができました。

彼とともに、良い職場・良い会社を創るために奮闘していきます。

まだ、決意のつかない皆さん、私たちと話しませんか！待ってます。